

さんがEXPRESS

掲示用

発行所

セブン&アイグループ労働組合連合会
イトーヨーカドー労働組合
東京都千代田区二番町8-8
TEL 03-6238-3940
FAX 03-3261-2358
発行者 渡邊 健志 編集者 田中 大樹

「想像力+徹底力」共感の輪を拡げ、^{あす}未来を共創できる組織へ



第52回定期中央大会開催報告

2021年10月7日(木)に第52回定期中央大会が開催されました。当日は、新型コロナウイルス感染症の感染対策として、Zoomを使用したリモート開催となりました。「2022年度活動方針」をはじめとする、8つの議案審議を行い、すべての議案が承認されました。

今年度の活動スローガンは「想像力+徹底力～共感の輪を拡げ、^{あす}未来を共創できる組織へ～」です。「想像力」と「徹底力」を持ち合わせながら、コミュニケーションをもとに共感の輪を拡げ、組合員の参加・参画のもと組織一丸となって活動に取り組んでいきます。組合員の皆さんのより一層の活動への参加・参画をよろしくお願いいたします。

～議案事項～

- ◇第1号議案「2022年度活動方針」
- ◇第2号議案「組合規約・規定の改定」
- ◇第3号議案「2022年度予算およびパンプキンクラブ予算」
- ◇第4号議案「2022年度中央役員選出」
- ◇第5号議案「上部団体役員の就任」
- ◇第6号議案「参与の任命」
- ◇第7号議案「第26回参議院議員選挙必勝決議」
- ◇第8号議案「功労者表彰」

【議長団】

【大会運営委員長】【中央選挙管理委員長】



大会議長
大井町支部
加藤 勇樹



大会副議長
竹の塚支部
佐久間 理香



大会書記
船橋支部
森田 ことみ



大会運営委員長
厚木支部
白石 生恵



中央選挙管理委員長
営業管理支部
高木 政博

【中央執行委員長 あいさつ(抜粋)】

1年以上続くコロナ禍で、世界では社会・経済環境に大きな格差が生まれてきており、新型コロナウイルス感染症と経済の対策と同時に、地球環境問題の解決に向けたSDGsを意識した経営の取り組みが加速的に広がっている。

これまで経験したことの無い大きな変革に対応するためには、一人ひとりが持っている主観的な考え方や意識、環境が変わっても変えようとしにくい固着した思いや考えである「固定観念」を捨て、商売の基本である「お客様の立場」で考え続け、その事への強い問題意識や目的意識を持って取り組むことが何より大切である。イトーヨーカ堂が再建を果たすために、私たちは基本に拘り、追求し続ける職場環境や風土づくりに取り組んでいかなければならないと考えている。

社員の期待する環境と、会社が提供する環境のギャップが少ない会社であり続けることが「いい会社」である。社員の意識や価値観が多様化する中、「企業理念やめざすビジョンへの理解」に加え、「共感と自主的な貢献・行動意欲」がなければエンゲージメントが向上することはない。労働組合に求められる役割は、労使の協議や対話機会、また組合員が個々の力を発揮できる働きやすい環境をつくり、個人と組織の成長に繋げていくことにある。労働組合の基本姿勢である「涸れた井戸から水は汲めない」そのものが、エンゲージメントであると考えている。

現在取り組んでいる「かわいたかのり」の支援・応援活動は、私たちの声を国政に反映させ、産業の発展に向けた政策を実現させることにつながる。組織で決めた目標達成に向け、計画に基づいた活動を共に取り組んでいきたい。

労働組合が一体感を強めるためには、組織全体に「誰のための、何のための活動なのか」を共有し、その上で多様性を踏まえた「腹落ちした活動」であることが不可欠であり、「一支部一組合」という組織づくりを可能にしていく。今年度も活動への深いご理解の上、参加・参画をお願いしたい。



中央執行委員長
渡邊 健志

【ご来賓あいさつ(抜粋)】

1年以上続いているコロナ禍でエッセンシャルワーカーとして働かれている組合員の皆様には、十分に感染対策をしたうえで、仕事、組合活動を進めていることと思う。

皆様のご理解とご協力もあり、7月に実施された東京都議会選に於いて、UAゼンセンの組織内・準組織内議員を合計2名当選させることができた。その成果もあり、コロナ禍での働く課題・問題について東京都に様々な要請をすることができている。10月に予定している衆議院議員選挙、また来年7月の参議院議員選挙に於いても、我々働く者の声を代弁する各都道府県支部が推薦している候補者、また比例代表の「かわいたかのり」の再選に向けて、引き続きのご理解とご協力をお願いしたい。



UAゼンセン
東京都支部 支部長
竹森 義彦氏

昨年より続くコロナ禍で、組合員を代表して組合活動に取り組まれている皆様に、改めて敬意を表したい。

今年度イトーヨーカ堂は上期に10億円の黒字ではあるものの減益しており、特別損失を計上していることから純利益はGS億円の赤字である。コロナ禍で先の見通せないVUCAの時代であり、皆が共に困難に立ち向かっていくことが重要だと考えている。

昨年100周年を迎え、次の100年に向けた新たな時代に入った。社会環境が変わる中、構造を変え、困難に立ち向かう変革の段階に入っている。その変革は一人では実行できず、仲間の共感を得ることが必要である。情報を共有し、皆で考えることで共感が生まれ、一人ひとりの行動が変わり、それが大きな原動力となる。

イトーヨーカ堂が永続的に成長し続ける為に、理念を浸透させ、継承していける風通しの良い会社とする為に、組合員の皆様に引き続きのご協力をお願いしたい。



(株)イトーヨーカ堂
代表取締役社長
三枝 富博氏

【第1号議案 2022年度活動方針】満場一致で承認されました！

想像力+徹底力~共感の輪を^{あす}広げ、未来を共創できる組織へ~

新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな問題へのスピード感を持った対応が、今もあらゆる場面において求められており、先々の予測が困難な時代です。そのような時代のなか、労使双方が基本を大切に、環境変化に対応できる強い組織としていくために必要なことは「当事者意識を持って物事を捉える想像力」と「主体性を持って取り組んでいく徹底力」です。今年度はより一層のコミュニケーションの充実を図り、共感の輪を広げ、より多くの組合員に活動への参加・参画を促すことで、一つの支部が一つの労働組合として機能していけるよう、中央と支部が一体となって取り組んでいきます。労働組合の活動は、一部の組合員の頑張りによって進めていくべきものではありません。多くの組合員に、一つひとつの活動の目的への理解と共感の輪を広げていくことで新たな未来を共創していくことを目指します。

スローガン実現に向けた活動の柱と心構え

- 《組織改革》 組織に活力を創出させ成長や発展を促す「魅力や価値を生み出す活動」
- 《意識改革》 改善行為や組織堅持に繋がる「問題意識を持った活動」
- 《活動改革》 課題の本質や現場の実態を正しく認識する「組合員に近づく活動」

第52回定期中央大会の詳細については、11月発行予定のさんかvol.537をご参照ください。

— 掲示期間 11月12日(木)まで —